

答 申 書

令和3年12月28日

上士幌町長 竹 中 貢 様

上士幌町総合計画策定審議会
会 長 佐藤 佳邦

第6期上士幌町総合計画について（答申）

令和2年9月3日付け上士企財第1082号をもって本審議会に諮問のありました「第6期上士幌町総合計画（案）」について、慎重に審議した結果、下記の意見を付して答申いたします。

記

- 1 将来像として掲げた「未来につなぐ 笑顔かがやく 元気まち上士幌」を実現するため、町民と行政が共に学び、成長とチャレンジを続けることにより、まちの魅力を向上させるよう努力すること。
- 2 人口減少や新しい生活様式等の社会環境の大きな変化の中で、快適で持続可能なまちであり続けるために、常に問題意識を持ち、これまでのやり方にとらわれない新しい発想をもって「5,000人のまちづくり」を強く意識した取組を着実に実践していくこと。
- 3 町が目指す将来の姿を全町民と共有し、町民をはじめ各団体や事業者などの多様な主体と協働のまちづくりを進めること。そのためにも、町民への懇切丁寧な説明を行い、十分な理解を得らえるよう配慮をすること。
- 4 自然・歴史・文化を守り、次世代に引き継ぐために、誰もが生きがいや喜びを持ち、まちづくりに参画できるよう、町民のまちへの愛着と誇りの醸成に一層努力すること。
- 5 本計画の推進にあたっては、社会情勢の変化や町民ニーズを的確に把握し、適切な事業の評価・検証を行い、時代に即した柔軟な事業展開に努めるとともに、必要に応じて計画の見直しを図ること。